
ホントはね。

壬生一葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ホントはね。

【Nコード】

N6042J

【作者名】

壬生一葉

【あらすじ】

幼馴染の二人の恋模様。 壬生世界満載。。。。

恋は盲目。

そう思っているのは、僕だけでしょうか。

周りにどれだけ、茶々を入れられても

好奇心な目で見られていても、横恋慕があつたとしても。

僕達を繋ぐこの手さえあれば、怖いものなんて何も無い。

君の声に心が震えるのは僕だけで良い。

君の声を頼りに、この先の道を辿っていければ良い。

僕は本当に心からそう想っているんだよ？

だけど僕は最後の最後で、

目を見開いてしまったんだ。

僕の直近に、白化粧をした黒髪のお岩さんが見えた。

「うわああああ……！！！」

僕は君の手を引いて、盲目だった闇を飛び出した。

心臓が高鳴り、息急ぎ切らす僕は、君の笑い声に顔を上げる。

「雄成^{ゆうせい}、相変わらずお化け屋敷苦手なんだね？

じゃあ缶コーヒー買ってくるから、座って待ってて？」

要らないよ？

君が僕の隣で手を握っていれば、僕はどんな時だって平気なんだよ
???

やっぱりお化けは無理だけど。

(後書き)

感想や評価、頂けたら幸いです。

壬生

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6042j/>

ホントはね。

2010年12月14日17時40分発行